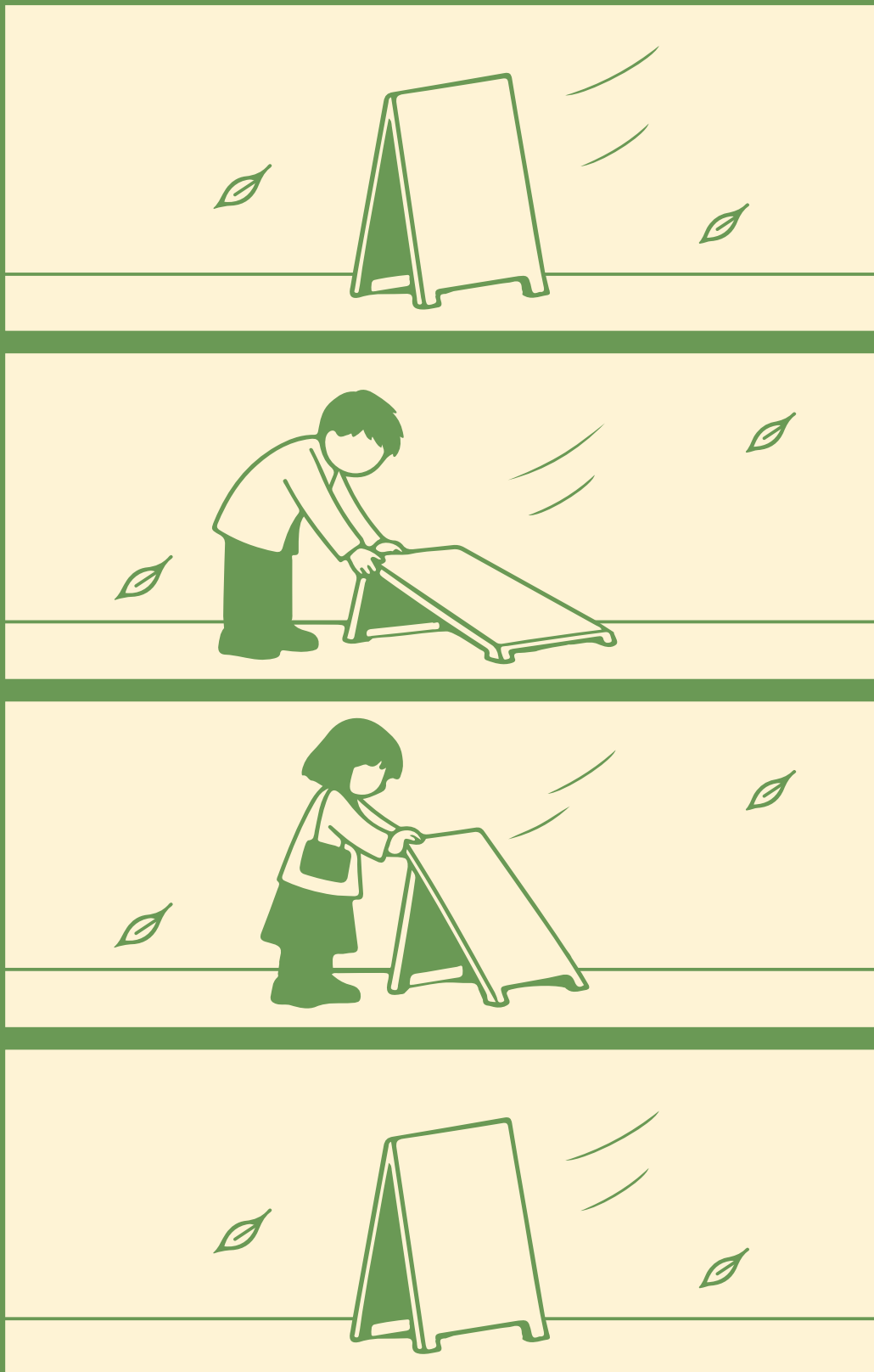


2026/10/24 ㊦ - 11/3 ㊦

首を突っ込む意味になつたといわれる。

展覧会

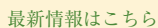
* 切匙（せっかい）説.. 切匙はすり鉢の内側や容器の隅につ



った味噌などをかき出す、くさ状の台

道具。隅々まで入り込んでき回す様子から、他人の事

* 「お節介」という言葉の語源の一説。



*「お断り」という言葉の語源の一説。

No.317 ANEWAL Gallery

11月19:00

入場無料

10/24 (7) 13:00-19:00

⑦

⑤ 他人の事に首を突

*切匙 (せっかい) 説 : 切匙
 はすり鉢の内側や容器の隅
 についた味噌などをかき出
 す、へら状の台所道具。隅々
 まで入り込んでかき回す様子
 から、他人の事に首を突っ
 込む意味になったとされる

展覽會

1988 11.25
不細大盤
1-0815 岸 幸来三響三響
10-10 岸 幸来三響三響
岸 幸来三響三響 岸 幸来三響三響

[illegible]

本誌
 編集振／Artist
 編集三張三寧中計冊。

強風で飛んでいかないよう、倒しておいた看板。
それを見かけた誰かが、「倒れていたから」と親切に起こしていく。
どちらも、良かれと思っでの行動。

私たちの日常は、こんな「やさしさ」のすれ違いであふれています。

本展は、京都芸術大学アートプロデュースコースの学生と、教員で美術家の小宮太郎による共同企画の展覧会です。タイトル「切匙（せっかい）説：～」は、おせっかいの語源とされる言葉からとりました。こうしてわざわざ由来を説明していることも、ひとつのおせっかいかもしれません。

本展の本質は、小宮の作品そのものではなく、作品の周りにある状況にあります。「展覧会」という形式を通して、私たちが普段どれほどおせっかいに、そしてやさしく世界と関わっているのか、現代における「やさしさ」のありようを見つめ直すきっかけになれば幸いです。

上長者町通

No.317
ANEWAL Gallery

下長者町通

三

↑北大路通

↓丸太町通

 No.317 ANEWAL Gallery

京都府京都市上京区奈良物町481
堀川団地出水第3棟 1階317号
<https://www.anewal.gallery/>



主催：京都芸術大学美術工芸学科アートプロデュースコース
協力：NPO ANEWAL Gallery, 京都府住宅供給公社